



コロナ禍のグローバル教育を考える ～茨城大学の挑戦～

2021年3月21日(日)

10:20～15:30 (日本時間)

ZOOMによるオンライン・ライブ開催

新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の国を超えた移動が難しくなり、大学のグローバル教育は大きな岐路に立たされました。このような困難な状況において、茨城大学では、「こんな時だからこそつながろう！ 茨城大学国際交流プロジェクト2020」を企画し、今からできるグローバル教育の形を模索してきました。本シンポジウムでは、これまでの実践をふりかえり、withコロナの時代にできるグローバル教育をみなさんと一緒に考えたいと思います。

- 10:20 開会式**
開会の挨拶 菊池あしな (茨城大学理事 国際連携)
- 10:30～12:00 第1部 コロナ禍の日本語教育を考える**
～海外協定校とのオンライン日本語教育実習を例として～
コーディネーター： 八若寿美子 (茨城大学全学教育機構)
- 茨城大学のオンライン日本語教育実習の概要** 青木香代子 (茨城大学全学教育機構)
- 参加協定校の担当教員による実施報告**
西由美子 (米国・アイオワ大学)
シャカル佳子 (米国・ウィスコンシン大学スベリオル校)
高柳有希 (韓国・仁済大学校)
Yeoh Lee Su (マレーシア・マレーシア科学大学)
- 13:00～14:30 第2部 コロナ禍のオンライン国際協働学習を考える**
～海外協定校とのオンライン交流授業を例として～
コーディネーター： 安龍洙 (茨城大学全学教育機構)
- 互いのことばを活用し合い、つながることの意味—ニューサウスウェールズ大学 (豪州) との協働プロジェクト**
田嶋美砂子 (茨城大学工学部)
- L2 Eタンデム学習後の心理的变化—ペンシルバニア州立大学 (米国) との授業交流**
小林翔 (茨城大学教育学部)
- 日本語教授法クラスと海外の日本語クラスを繋ぐ試み—ペンシルバニア州立大学 (米国) との授業交流**
池田庸子 (茨城大学全学教育機構)
- オンラインを駆使して「探究的」に日本語教育を学ぶ—ミシガン州立大学 (米国) との授業交流**
瀬尾匡輝 (茨城大学全学教育機構)
- AIMSによる学生交流におけるオンライン授業の活用について**
坂上伸生 (茨城大学農学部)
- 14:30～15:15 第3部 情報交換会**
- 15:15 閉会式**
閉会の挨拶 池田庸子 (茨城大学グローバル教育センター長)